事業番号	04 02 02	**事業改善シート（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事業名	**文化財の保存活用事業**	部局	県民文化部	課・室	文化振興課
		実施期間	S25 ～	E-mail	bunkashinko @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財継承の担い手不足による文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題となっている。そのため、文化財に対する県民の理解を深め、所有者等による文化財の保護（保存・活用）を推進するとともに、地域社会総がかりで文化財を確実に未来に継承する必要がある。
・県立歴史館は、開館から30年が経過し、施設・設備の老朽化に加え、貴重な歴史資料の収蔵スペースの逼迫が顕著となっている。また、開館以降、常設展示スペースは抜本的な展示物のリニューアルが行われておらず、将来に向けた歴史館のあり方について検討する必要がある。
・原始・古代から第二次世界大戦（以下「戦後」という。）までの近代を対象とした既刊の長野県史の完結から30年余りが経過し、歴史資料の散逸や証言者の減少が進んでいる。

2 事業目的

・文化財の確実な保護・継承と活用を推進することにより、県民の文化財に対する理解を深めるとともに地域活性化に資する。
・県立歴史館において歴史資料等を収集・保存し、広く県民の利用に供することにより、県民の教養向上と文化の振興に寄与する。
・長野県に関わる人々の戦後の多様な歩みとその特色を明らかにし、歴史を後世の幅広い世代に語り伝える。

3 事業目的を達成するための取組

①文化財保護のための文化財指定の推進及び保存・活用の支援
当初予算のとおり

②県立歴史館事業の推進による学習機会の充実
当初予算のとおり

③新しい長野県史の編さん
・長野県史の編さんに関する事項を調査・審議するため、学識経験者を構成員とする長野県史編さん委員会を附属機関として設置
・戦後期を中心とした歴史資料の調査等を実施
※その他の事業は当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	新規の文化財指定等件数	件	19	23	↗	22	↘	24		過去５年間の実績とR７年度中の指定等が見込まれる件数を勘案して設定
②	県立歴史館利用者数	人	66,533	62,542	↘	61,812	↘	70,000		コロナ禍後の利用者数実績値を踏まえた目標値を設定
③	指標なし									

5 本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近３か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
3-2①	文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計（予算現額）	うち一般財源		
R8年度	243	615,589	7,527	**7,527**	623,359	576,115		41.5
R7年度	692	381,988	0		382,680	337,129	350,336	38.5
R6年度	10,500	393,243	△ 28,576		375,167	324,619	350,512	33.0

事業番号	04 02 02	**細事業一覧（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事業名	**文化財の保存活用事業**	部局	県民文化部	課・室	文化振興課

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
1	**文化財総合対策事業**	141,515 千円	122,715 千円	予算現額 96,302 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	文化財総合対策	直接 委託	・文化財指定のための調査、審議会開催 ・指定文化財の現状把握や適切な管理のための文化財パトロールの実施 ・埋蔵文化財保護のための埋蔵文化財包蔵地パトロールの実施
			審議会開催２回、文化財パトロール600件、埋蔵文化財パトロール400件
2	文化財の修理及び防災事業	補助金	指定文化財の所有者等が実施する保存修理や防災対策、活用事業に対する補助
			補助件数56件

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
2	**県立歴史館事業**	233,652 千円	245,801 千円	予算現額 455,363 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	総合情報及び企画展等事業	直接	・常設展示の管理運営 ・企画展（「継承戸隠」、「長野県150年のあゆみ」、「古代の信濃国をさぐる」）の開催 ・中南信地域の小中学校・公民館等への「お出かけ歴史館」の実施 ・県立歴史館の機能充実を図るため、展示等のリニューアルについて、第３者による検討委員会を開催。 ・企画展示室の空調設備更新工事
			「お出かけ歴史館」実施数６箇所
2	文献史料事業	直接	・古文書講座の開催 ・信州にゆかりのある歴史資料の購入
			・上・中・初級者向け古文書講座開催数５回
3	考古資料事業	直接	・考古学体験講座の開催 ・考古資料保存技術講習会の実施
			・考古学体験講座の実施３回 ・市町村向けの考古資料保存技術講習会の実施２回

	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
3	**県史編さん事業**	－ 千円	14,164 千円	予算現額 71,694 うち今回補正額 7,527 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	県史の編さん	負担金 直接	・設置する編さん組織において、編さんに関する重要事項の調査・審議及び編集に関する調整等を実施 ・編さん組織を附属機関として設置
			会議の開催26回
2	編さん補助及び広報・普及事業	直接	・戦後期を中心とした歴史資料の把握や聞き取り調査等を実施 ・県立歴史館が所蔵する現代史関連資料の撮影・複製 ・資料調査等への県民参加を促し、地域の歴史や文化、長野県の歩みに対する関心を高めるための事業を展開（イベント開催、探究学習など）
			キックオフイベントの参加者1,000名、高校と連携した探究学習の実施２校